



帯山小学校だより

No.3 R6.6.1 文責 校長 西方 浩一

「最後まであきらめずに 思い出に残る 最高の運動会にしよう」

先月25日(土)、上記のテーマで帯山小学校大運動会を行いました。曇一つない晴天で、暑さを心配しましたが、そよ風も吹き絶好の運動会日和でした。朝早くから応援にかけつけてくださった来賓や地域、そして、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



1年生の元気いっぱいの玉入れ、2年生のかっこいいダンス、3年生の力のこもった綱引き、4年生の気合の入ったソーラン節、5年生の工夫を凝らした玉取合戦、そして6年生の会場が一体となったダイナミック琉球とどの競技も感動しました。また、応援団演舞や開閉会式の代表の子どもたちなど、その姿に心を打たれました。私は、競技が終わった時、自然と涙があふれてきました。きっと子どもたちの頑張りをご覧になった皆様も感動に包まれたことと拝察いたします。

この盛会に終わった運動会には、暑さに負けず頑張った子どもたちはもちろん、毎日、体育服の洗濯や子どもの体調管理をしてくださった保護者の皆様のお力添えあつてのことと感謝しております。また、綿密な計画を立て繰り返し準備してくれた本校職員の頑張りにも校長として感謝しています。さらには、前日の準備をお手伝いいただいた本校PTAの皆様、散水・整地をしてくださった本校保護者でもあるむつみ建設様などたくさんの方々にご支援いただきました。子どもたちには、皆様のご理解とご協力があつてこそその運動会大成功であったことを話し、感謝の気持ちを育みます。



6月は「心のきずなを深める月間」です

昨年度まで「いじめ根絶強化月間」としていた6月の取組が、今年度より「心のきずなを深める月間」と名称が変更されました。学校・家庭・地域が互いの役割と責任を強く自覚して日頃からのいじめの未然防止を推進していくこと、また、学校総体として、子どもたちが自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、豊かな人間性や社会性を身につけ、命を大切に、安心して生活できる学校をつくっていくことが取組の目的です。

今年度のテーマは、「みんなでいじめをなくしていこう～思いやりの心をもって～」です。昨年度、熊本市「心のアンケート」でいじめを受けたと答えた児童生徒は約5000人。内容は「冷やかし、からかい」が最も多く、相手の立場を考え、思いやりの心をもって他者に接することは、いじめの未然防止だけでなく、被害を拡大させないことにもつながります。いじめを起こさないために自分たちができること、いじめが起きたときに自分たちができること、いじめられていると感じたときのSOSの出し方等を真剣に考え、互いにきずなを深めながら、みんなが安心して生活・学習できる学校をつくっていきます。

そこで、①いじめのサインを見逃さない～早期発見・早期対応～、②いじめが起これにくい集団でづくり～未然防止～、③いじめを許さない環境づくり～家庭・地域・関係機関等との連携～に重点的に取り組めます。皆様のご協力をお願いいたします。